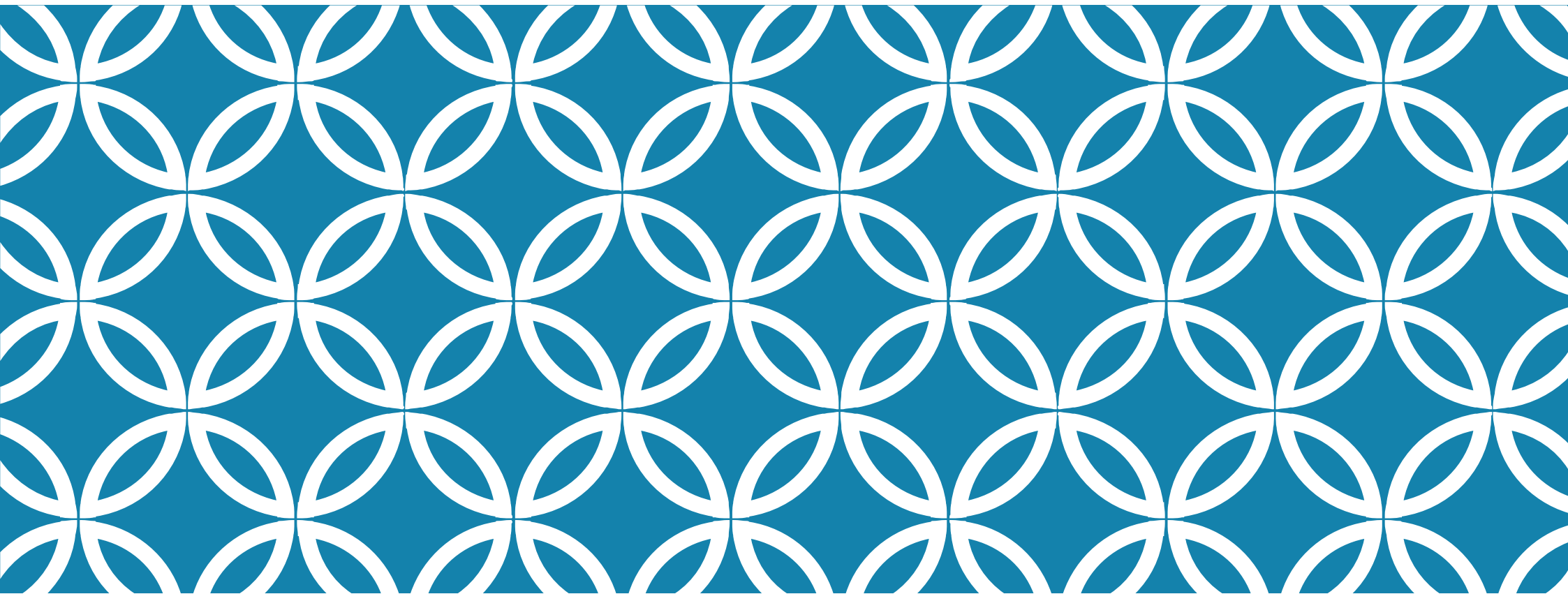




「トラック運転者の安全な運行環境に関する研究」 発表に対するコメント

神奈川大学
齊藤 実

コメントの内容

1. 本報告の意義
2. 期待される今後の研究の方向性
3. 関連する事例紹介
アメリカにおける新たな安全規制の展開

1. 本報告の意義

分析対象の複雑性

- わが国の物流を担うトラック輸送の安全性を阻害する要因は、単純なものではなく、構造的に複雑な要因が絡み合っていて発生していることを明らかにしている。

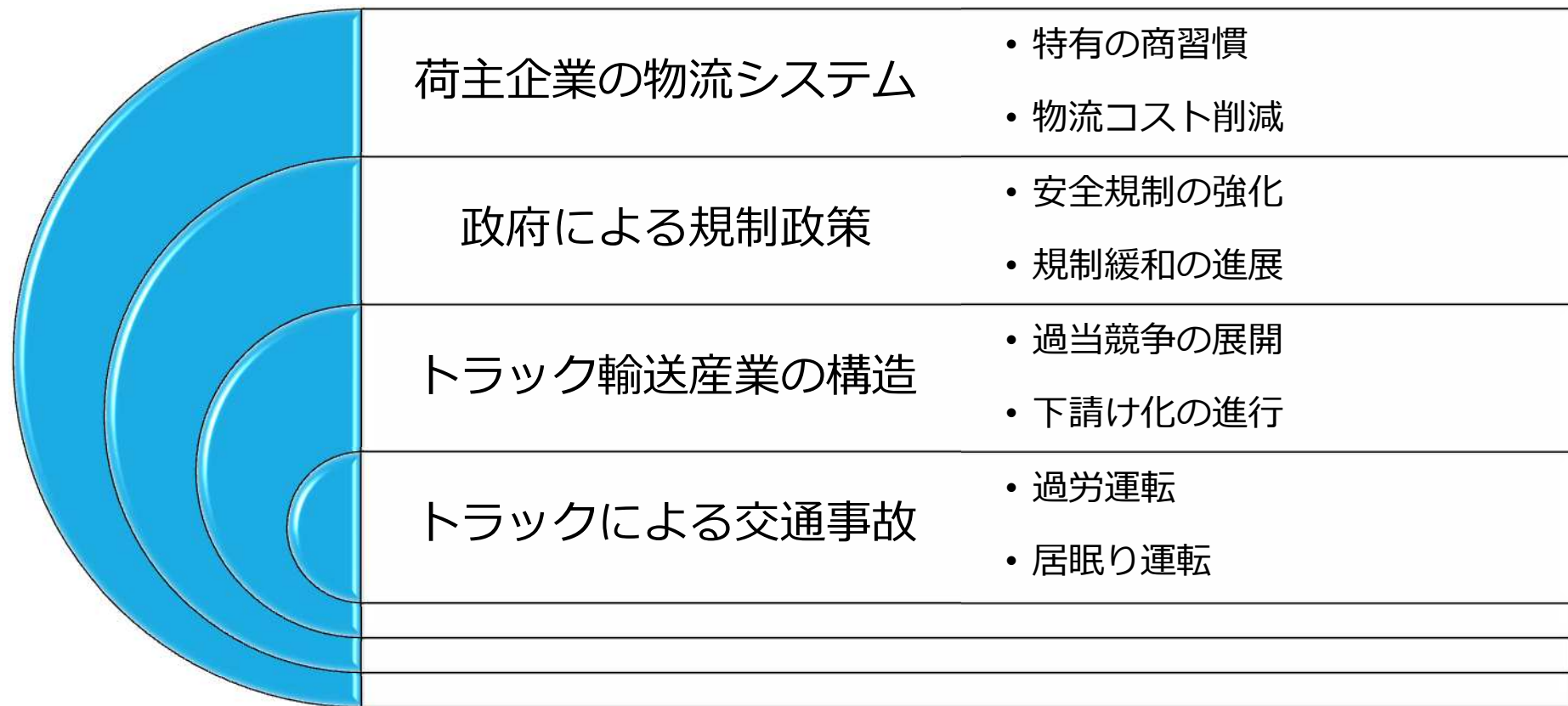
広範囲わたる対象を分析

- トラック輸送産業の構造、政府による規制政策、荷主企業の物流実態と分析が、広範囲にわたって行われている。

問題の所在の明確化

- 安全性を阻害する要因を広範囲にわたって分析しており、どこに問題があるのかを明確にしている。

包括的な分析



2. 今後期待される研究の方向性

新しい分析対象の絞り出し

- 全体像が明確になっているので、今後不正な競争の展開に基づく過労運転と大型トラックによる事後を削減するために、いかなる政策が重要なのか焦点を絞って分析する

政策の選択肢と有効性の研究

- 焦点を絞った政策の可能性と選択肢とその政策による有効性についてより深い分析と研究の深化が望まれる。

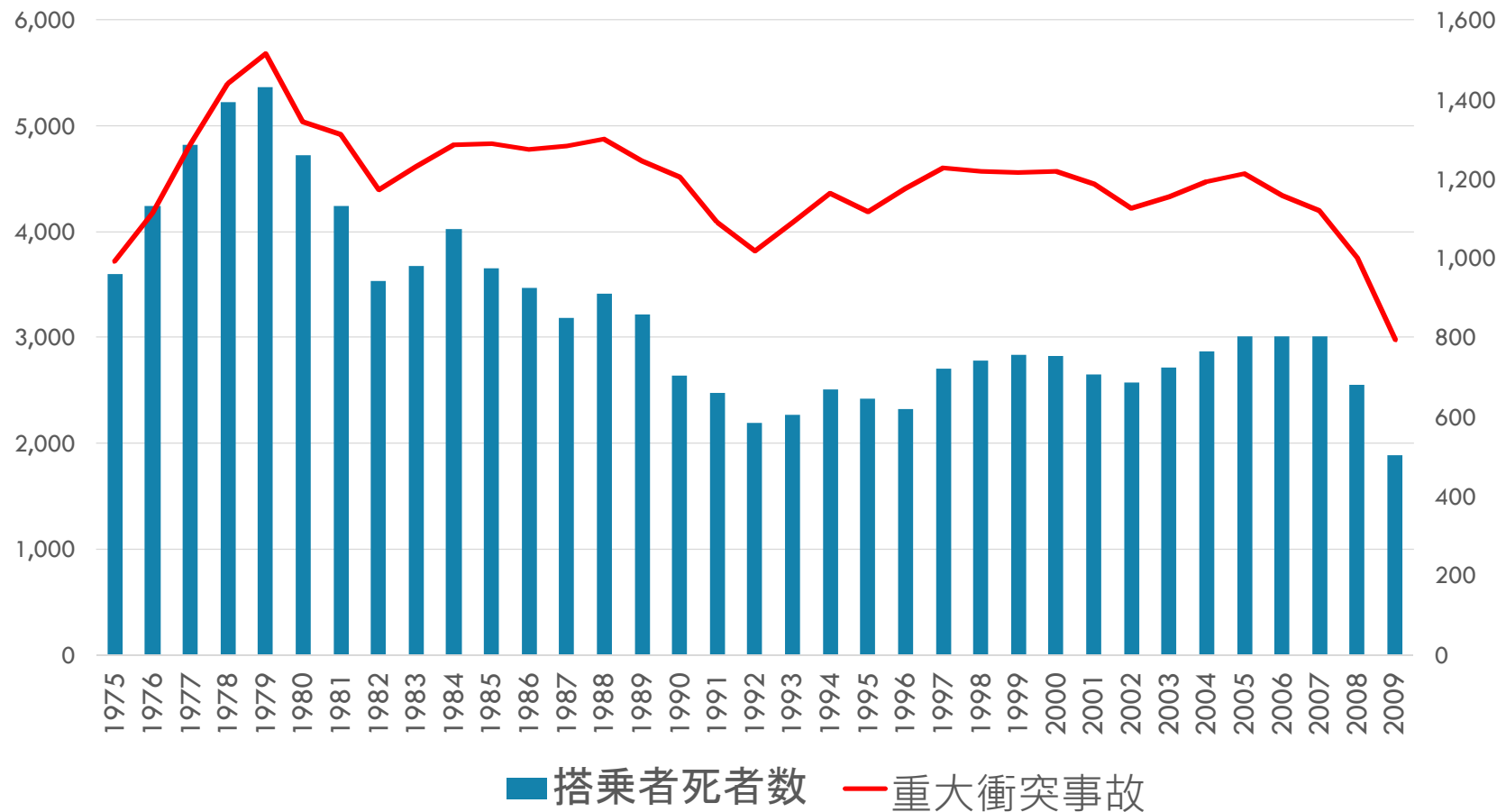
3. 関連する事例紹介

アメリカにおける新たな安全規制の展開

- a. 大型トラックによる交通事故の実態
- b. 連邦政府による新たな安全規制の特徴
- c. 安全規制のインパクト

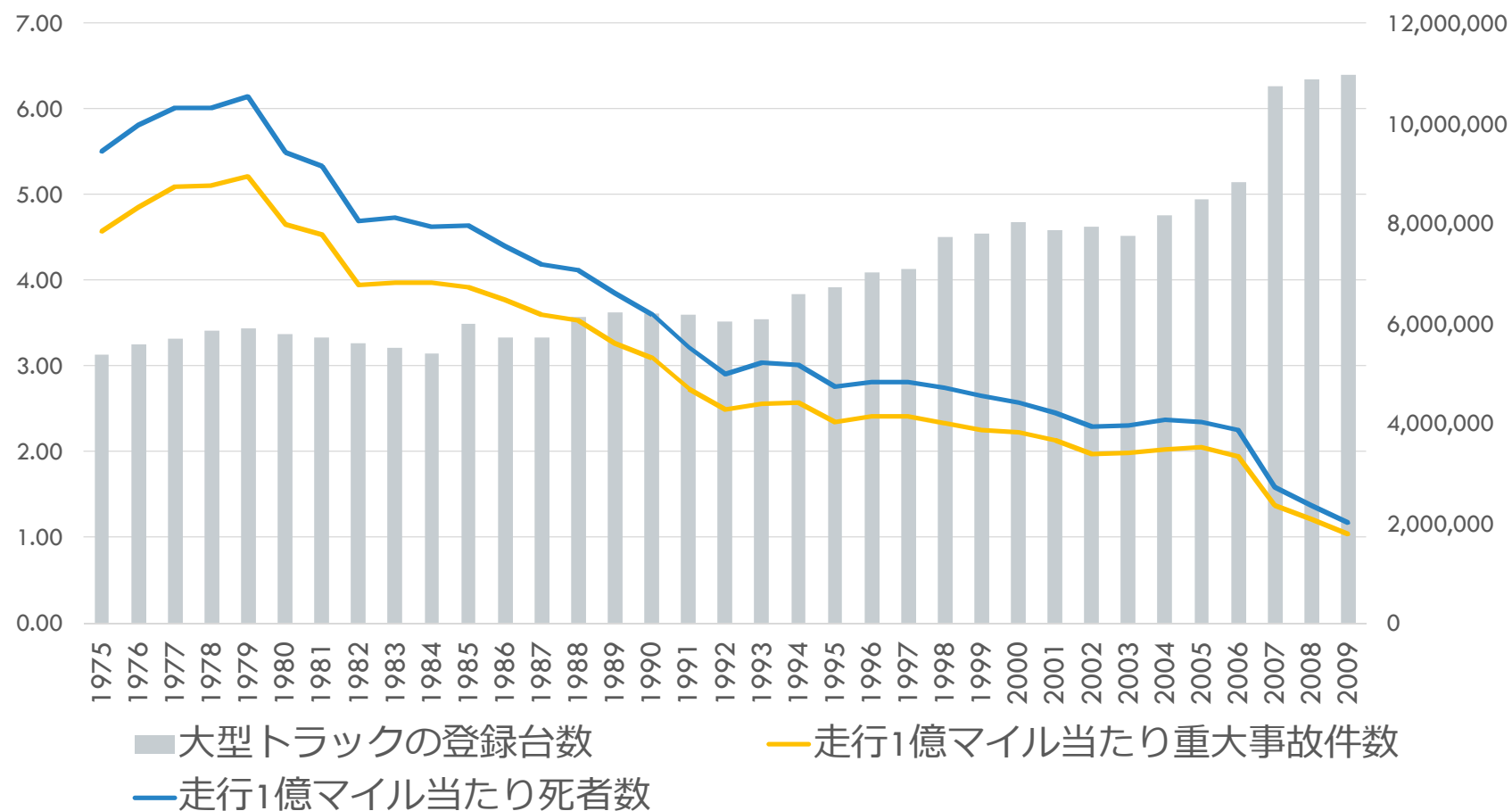
アメリカにおける大型トラックの衝突

事故件数と死者数の推移



資料：FMCSA

大型トラックの登録台数および走行1億マイル 当たり衝突事故数と死者数



資料：FMCSA

最近の大型トラックによる交通事故

大型トラックの衝突事故件数、死者数、負傷者数

	2010年	2011年	2012年（1月～6月）
衝突事故件数	116,179	116,350	52,581
死者数	3,902	3,737	1,758
負傷者数	64,913	64,010	29,876

資料：FMCSA

アメリカ運輸省（DOT）による 新たな安全規制の実施

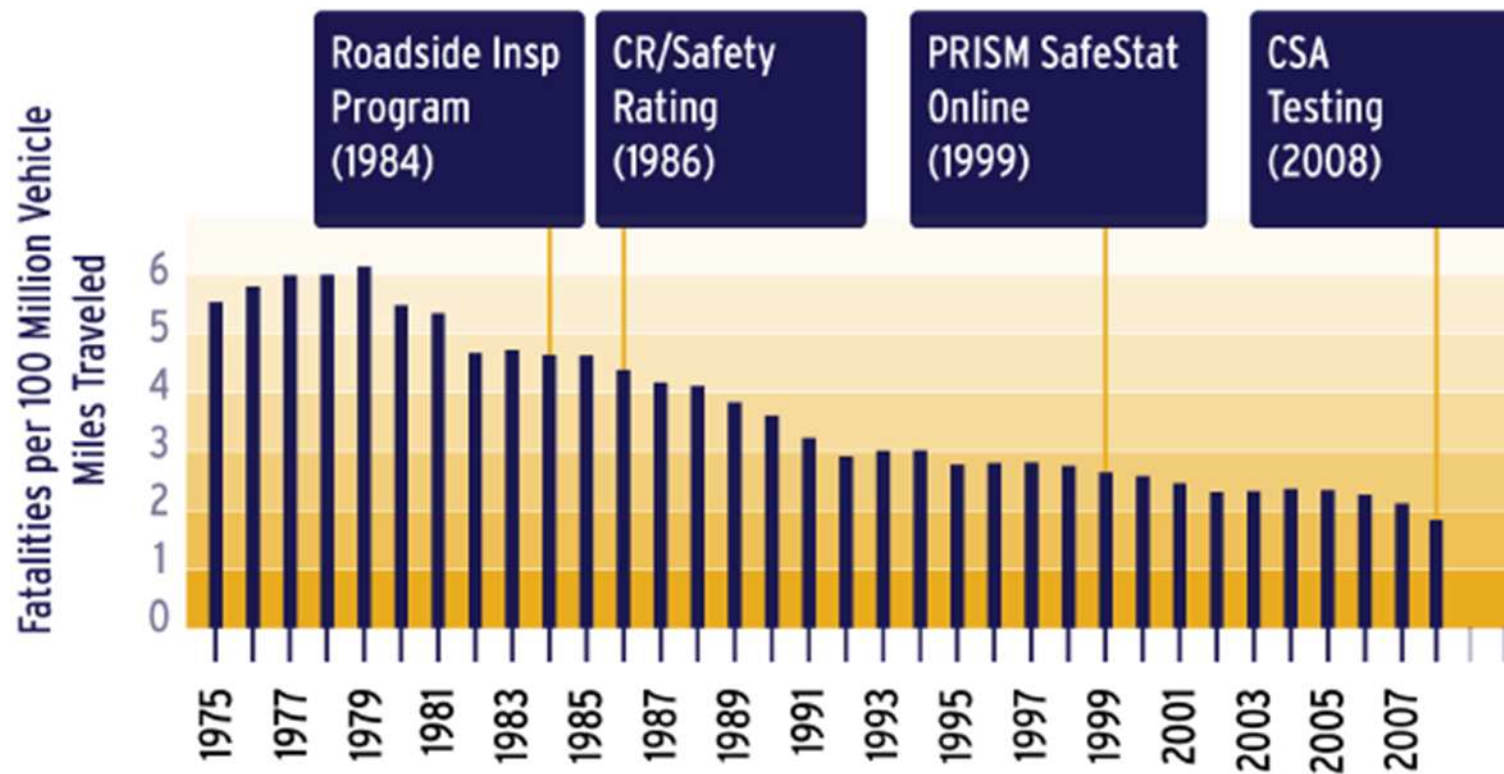
安全規制の主体

- FMCSA（Federal Motor Carrier Safety Administration）

CSA（Compliance, Safety, Accountability）プログラム

- 従来と異なる大型トラックおよびバスの安全性を改善するための施策
- 2008年からいくつかの州で試験的に実施
- 2010年12月から全米で開始
- 安全規制の新たな手法を導入
- トラック運送業者、トラックドライバ、荷主にインパクト

トラックに対する安全規制政策



http://csa.fmcsa.dot.gov/about/csa_why.aspx

CSAプログラムの主たる特徴

事後対応より事前対応の重視

- 事故を起こす可能性の高い運送業者を事前に選定して、予防的な措置を実施

ドライバーの安全性のパフォーマンスを重視

- 運送業者だけでなく個々のドライバーについても焦点を当てる

安全情報の一元管理

- 運送業者、ドライバーの安全に関する安全情報を一元的に把握して管理

安全性の測定、評価、ランキング

- 測定項目に従って運送業者ごとに安全性を測定、それを評価し、ランキングを行い、ドライバーも評価の対象となる

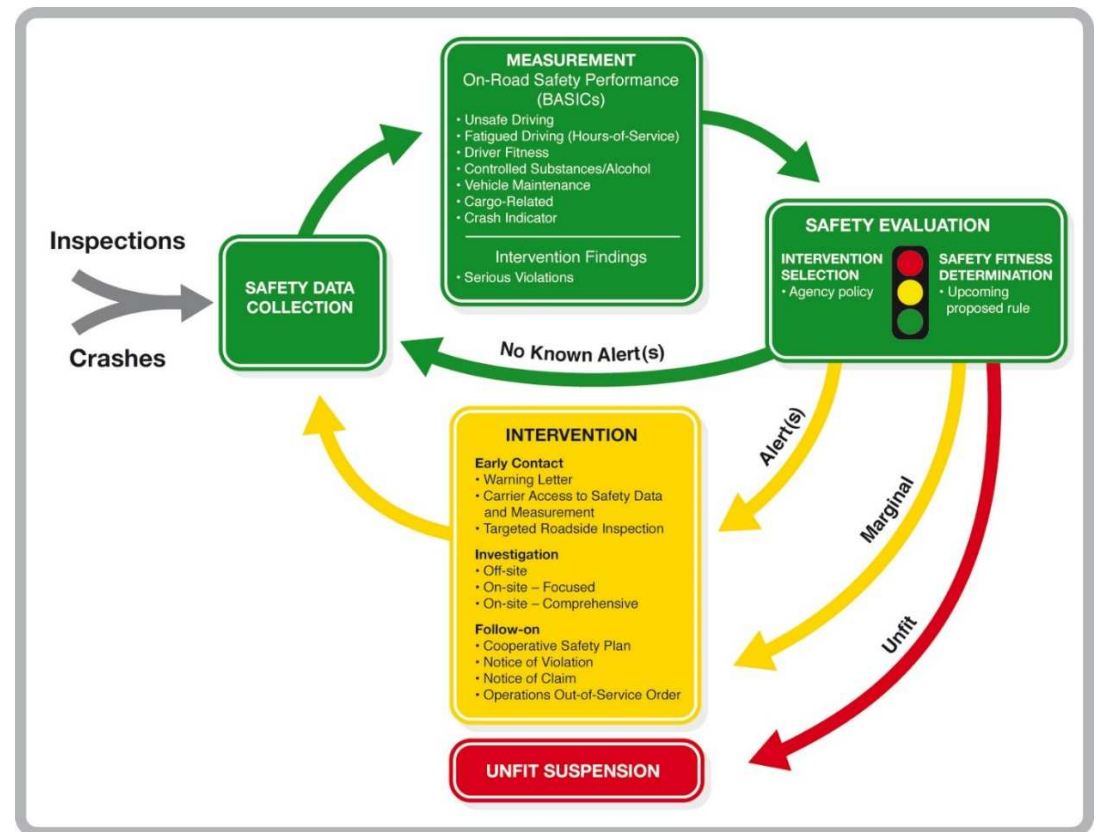
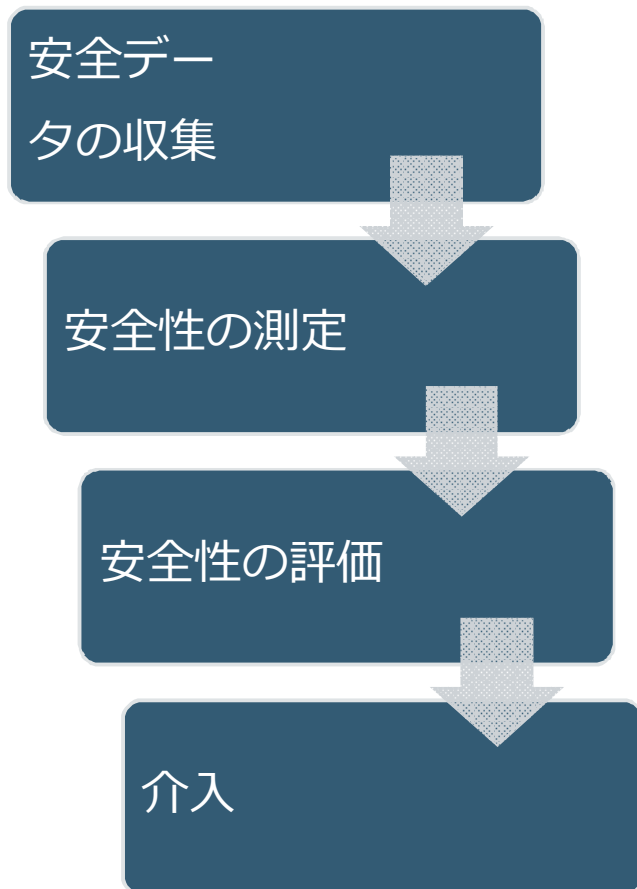
評価に応じた運送業者への措置の実施

- 運送業者に対する警告、監査の実施、事業停止の措置を実施

運送業者およびドライバーの安全性の測定、評価、ランキング情報の公開

- インターネットを通じて運送業者、ドライバーの安全性パフォーマンスを誰でも閲覧可能

CASのプロセス



http://csa.fmcsa.dot.gov/about/csa_how.aspx

7つの行動分析・安全改善カテゴリー

(BEHAVIOR ANALYSIS AND SAFETY IMPROVEMENT CATEGORIES: BASICS)

危険運転

- スピード違反、無謀運転、不適切なレーン変更、不注意

過労運転

- 就業時間規則の違反、運行日誌の違反

ドライバーの適格性

- 商用運転免許証を持っていない、医療上の制限

アルコール、薬物

- アルコール、違法な薬物使用による運転

車両管理

- ブレーキ、ライトが修理されていない、その他機械的な欠陥

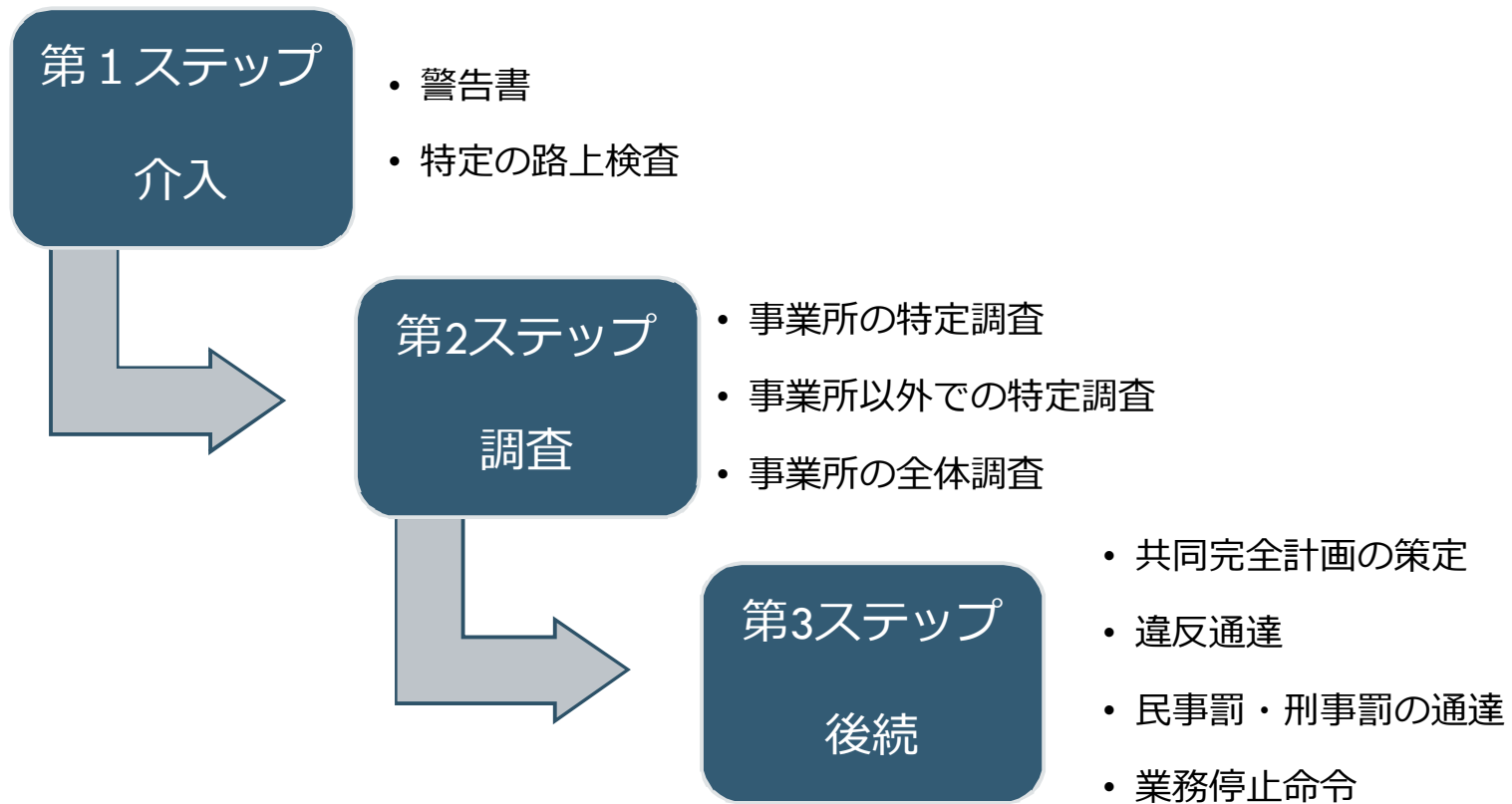
貨物の保全

- 貨物落下や流出、重量やサイズの違反、危険な危険物の荷役

衝突事故の履歴

- 衝突事故の頻度と大きさ

政府による運送業者への介入



CSAの予想される影響

メリット

- 運送業者
- 安全性やコンプライアンスを確認するための優れた情報を獲得でき、適切な活動を行うことができる
 - ドライバーを雇用する際にドライバーの安全パフォーマンスを正しく評価できる

- ドライバー
- 優秀な安全記録を持つドライバーの需要が拡大する
 - ドライバーにコンプライアンスや安全を守ることが強く求められる

- 荷主
- 運送業者の安全記録を評価するために優れた情報が提供され、どの運送業者と運送契約を結ぶかを決定する上で役立つ

資料： <http://transportation.qualcomm.com/csa-0>

デメリット

- 低い評価の場合、売り上げの減少や保険コストの上昇が生じることがある
- ドライバーの雇用をめぐって事業者間の競争が激化し、人件費が上昇する
- コストの増加、雇用の困難、評価の問題で破産する確率が高くなる

- 評価の低い安全記録を持つドライバーがいなくなるためにドライバー不足が増加する
- 経験のないドライバーや経験不足のドライバーの雇用が増える

- 運送業者とドライバーがいなくなることによって運送するキャパシティが減少する
- 運送コストの上昇
- 運送業者の評価が正確に行われないとリスクが増加する